

25mラピッドファイアピストル

個人種目

2022年度国内版

競技形式	
種目	25mラピッドファイアピストル
種目の種類	個人
種目名	25mラピッドファイアピストル男子
競技方式	<p>本選ステージ： エントリー数に応じて、1つ以上の射群で行われる。</p> <p>ファイナルステージ： 2022年度の国内試合のファイナルは原則として東京2020版で行われる。ただし、2022年度版ISSFルールによるファイナルの実施は妨げない。2022年度版ISSFルールは下記のURLから確認すること。 https://www.issf-sports.org/theissf/rules_and_regulations/ristol_rules.ashx</p>
標的	全ステージにおいて、電子標的にて行われる。
会場	<p>全ての射群で25m射撃場が使われること。</p> <p>本選は、本選射場で行われる。</p> <p>ファイナルは、ファイナルホールもしくは指定されたファイナル射場で行われる。</p>
得点	<p>本選 25mラピッドファイアピストル：整数での採点</p> <p>本選得点は、ファイナルへ持ちこさない。</p> <p>ファイナル ヒット／ミス。ヒットゾーンは9.7点以上の範囲である。</p>
本選ステージ	
本選の進め方 選手の入場	各射群において、開始時刻の13分前に選手を射座に入れる。
準備および試射時間	各ステージで3分間の準備時間の後に1回の試射シリーズが続く。
弾数と制限時間	各ステージ本射30発
後続の射群	複数の本選射群がある場合は、次の射群の選手が射座に呼び出されるまでに15分の間隔を設ける。この時間で撃ち終わった選手は射座から用具を出し、RTSジュリーが必要に応じて標的の点検と標的マスクの交換をする。
射場長の号令	

<p>選手の入場</p> <p>射場長の号令</p> <p>準備および試射時間</p>	<p>開始時刻の13分前： “ATHLETES TO THE LINE (アスリーツ トゥー ザ ライン)”</p> <p>選手は5分間で割り当てられた射座に用具をセットアップできる。</p> <p>“THREE MINUTES PREPARATION TIME, START (スリー ミニ ッツ プレパレーション タイム、スタート)” 2分30秒後、“30 SECONDS (サーティ セコンズ)” 3分後、“END OF PREPARATION TIME (エンド オブ プレパレーション タイム)”</p> <p>30秒後、“SIGHTING SERIES, LOAD (サイティング シリーズ ロード)” 選手は1分以内に正しい弾数を弾倉に装填し、準備しなければならない。</p> <p>1分経過後、“ATTENTION (アテンション)”の号令があり、標的が起動する (EST使用時は赤ランプ点灯)。</p> <p>射場長が試射、もしくは本射シリーズの終了時に“UNLOAD (アンロード)”の号令をしてから、次のシリーズ開始の“LOAD (ロード)”の号令をするまでの間に、1分間の中断時間を設けなければならない。</p> <p>適切な信号 (ESTの赤と緑のライト) か号令で射撃を開始する。</p> <p>すべての選手が第1ステージを終了してから、第2ステージを開始しなければならない。</p> <p>ルール8. 7. 6. 3も参照のこと。</p>
<p>ファイナルへの進出</p>	<p>本選の上位6名がファイナルステージへ進出する。 ファイナルは東京2020版に従う。</p>
<p>同点の順位決定</p>	<p>ファイナルステージ進出の可否が問われる6位の順位決定は、ISSF同点の順位決定ルール6. 15. 1によって決定される。</p>
<p>音楽と声援</p>	<p>本選とファイナルでは、音楽をかけなければならない。テクニカルデレゲートは音楽プログラムを承認しなければならない。 すべてのファイナルステージにおいて観客による熱烈的な応援は奨励され、推奨される。</p>
<p>ペナルティ</p>	<p>ペナルティはISSF規則に従って科される。</p>
<p>想定外の事態</p>	<p>上記に言及されていない事態には、ISSFゼネラルテクニカルルールが適用される。</p> <p>想定外や評価の割れる事態は、各種目のゼネラルテクニカルルールに従い、 Juryによって裁定される。</p>